

高砂熱学工業株式会社 2022年3月期第3四半期 決算説明資料

2022年2月10日

環境クリエイター® TakasaGo!

 高砂熱学



東証第1部：1969

1. 2022年3月期第3四半期 連結決算概要

2022年3月期第3四半期 エグゼクティブサマリー

◆連結売上高：200,161百万円（前年同期比 +5.9%）

⇒2022年3月期2Q時点での工程遅延・コロナ影響から回復途上

◆売上総利益率：13.2%（前年同期比 +0.5pt）

⇒単体利益率上昇が連結利益率を押し上げ、過去最高益2019年度と同水準

◆営業利益：7,499百万円（前年同期比 +16.6%）

⇒全社最適受注を通じた工事採算性向上への取り組みにより、利益増加

◆受注高：234,735百万円（前年同期比 +20.5%）

⇒豊富な情報量のもと、国内外における大型の工場系（産業）空調案件を中心に、完工量や配員計画を考慮した計画的受注を実施

2022年3月期第3四半期 連結損益計算書 (前年同期比)

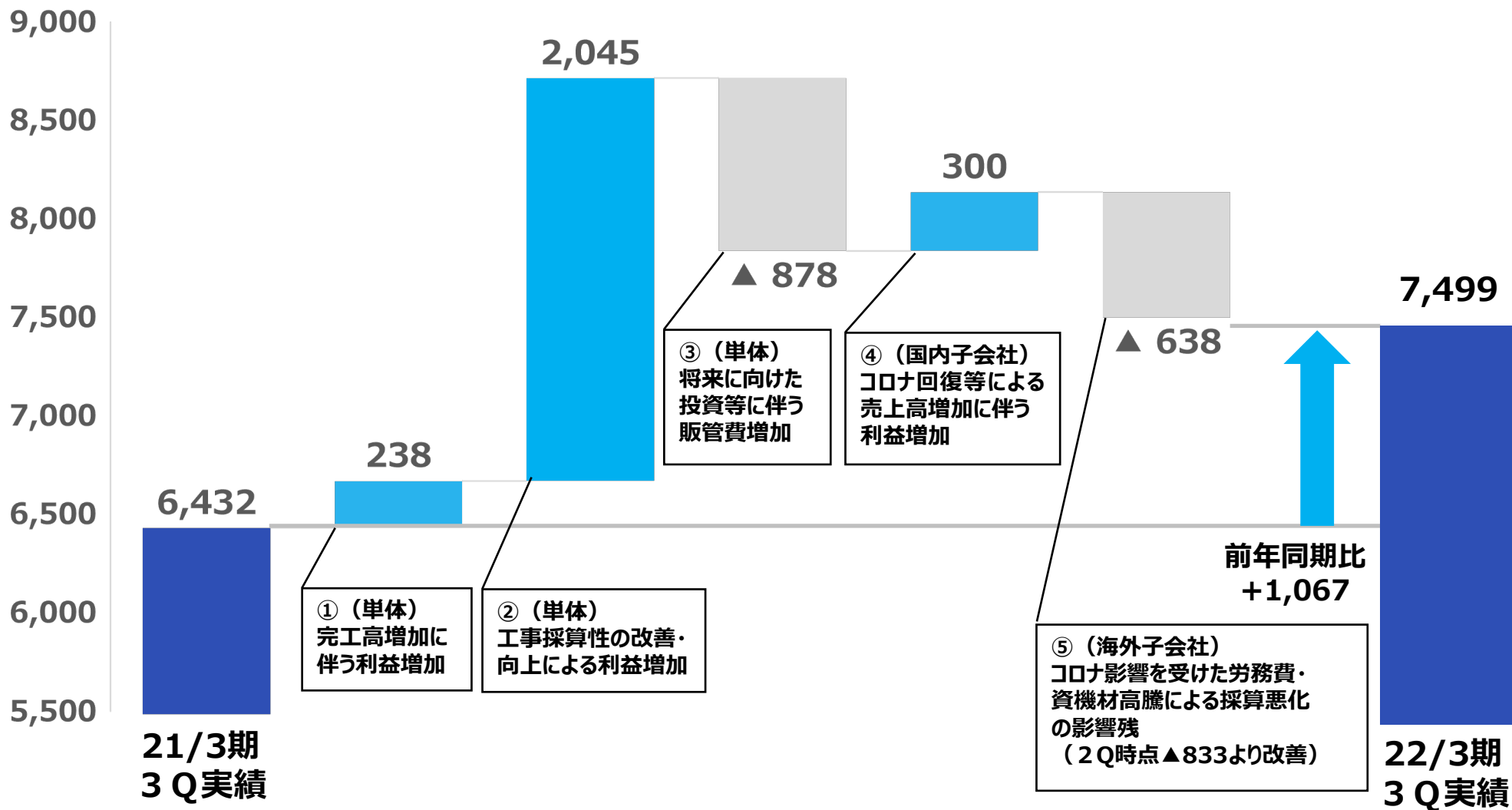
(単位：百万円、%)

	21/3期3Q	22/3期3Q		
	実績	実績	増減	増減率
売上高	189,032	200,161	+11,129	+5.9
売上総利益 (売上総利益率)	24,042 (12.7)	26,479 (13.2)	+2,437 (+0.5)	+10.1 -
営業利益 (営業利益率)	6,432 (3.4)	7,499 (3.7)	+1,067 (+0.3)	+16.6 -
経常利益 (経常利益率)	7,299 (3.9)	8,424 (4.2)	+1,124 (+0.3)	+15.4 -
親会社株主に帰属する 四半期純利益 (四半期純利益率)	4,810 (2.5)	5,769 (2.9)	+959 (+0.4)	+19.9 -

受注高	194,744	234,735	+39,991	+20.5
繰越高	226,973	266,023	+39,049	+17.2

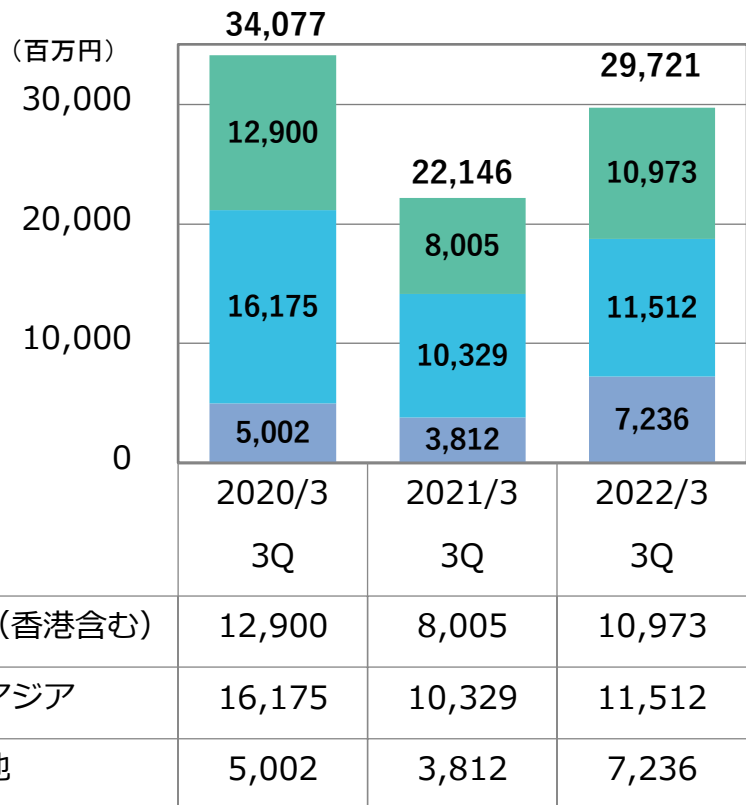
連結営業利益の主な増減要因（前年同期比）

（単位：百万円）



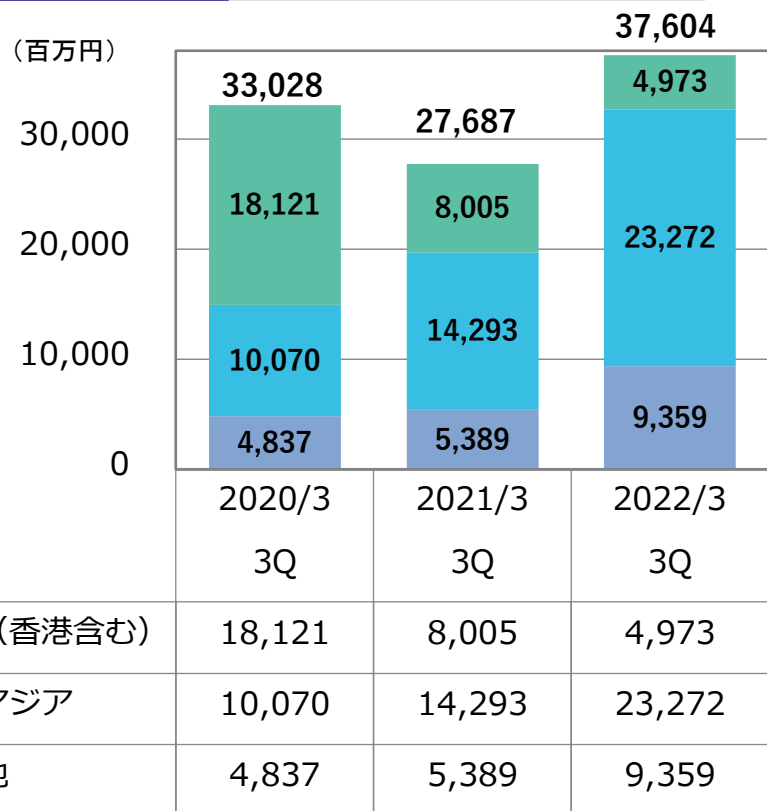
(補足資料) 国際事業の状況 – 地域別内訳

売上高推移



受注高推移

(注) 受注高、売上高のセグメント間取引は、調整前



22/3 3Q概況

完工：コロナ・工程遅延影響から回復途上であり、前年同期比+34.2%

受注：半導体関連施設の建設が活況であり、前年同期比+35.8%

バランスシート (前年同期比)

(単位：百万円)

	2020年 12月末	2021年 12月末	増減
流動資産	181,526	191,944	+ 10,418
現金・預金等	48,018	42,425	▲5,593
受取手形他 ※1	111,122	130,889	+19,767
その他	22,385	18,629	▲3,756
固定資産	26,726	28,652	+1,926
投資その他資産	44,998	45,417	+419
総資産	253,251	266,014	+12,763

※1 ⇒ 受取手形・完成工事未収入金等、電子記録債権

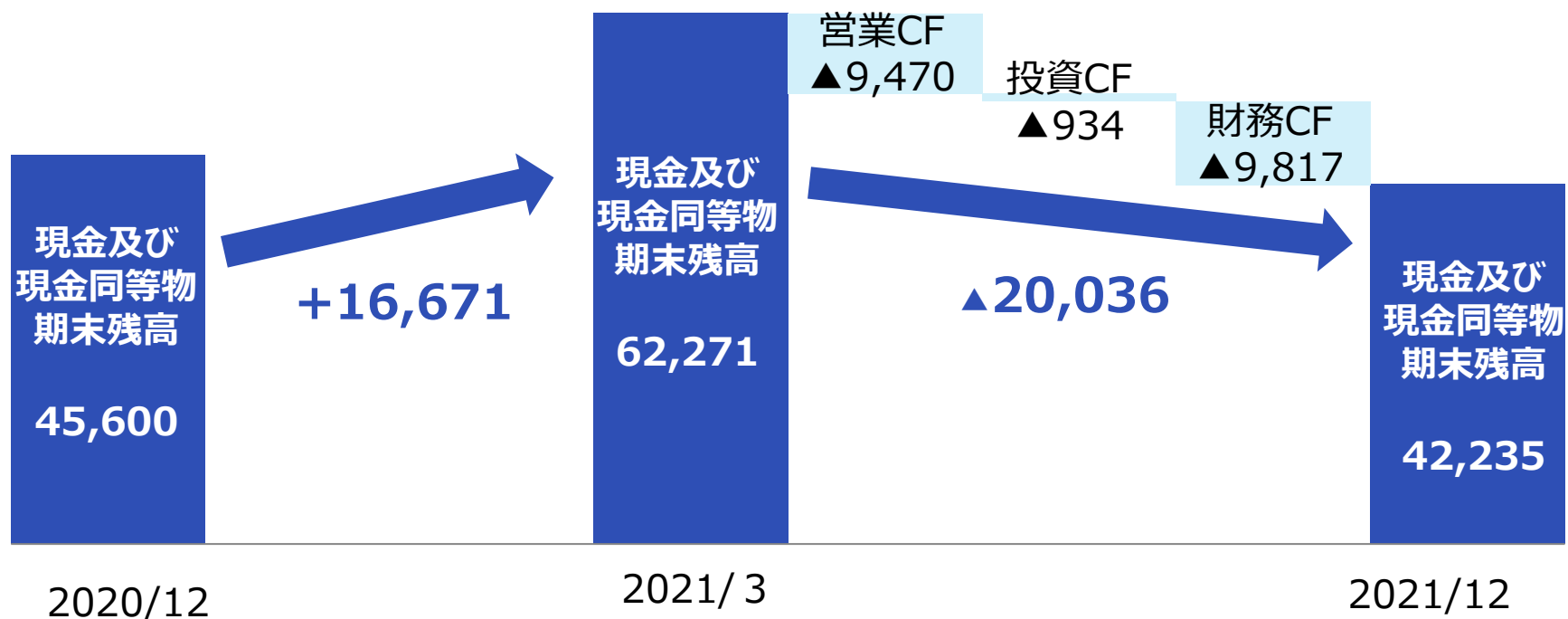
※2 ⇒ 支払手形・工事未払金等、電子記録債務

	2020年 12月末	2021年 12月末	増減
流動負債	96,053	103,657	+ 7,604
支払手形等 ※2	63,495	66,430	+2,935
工事損失引当金	1,909	2,015	+106
短期借入金	4,682	5,896	+1,214
その他	25,963	29,311	+3,348
固定負債	28,828	29,566	+ 738
社債	25,000	25,000	0
その他	3,826	4,563	+737
純資産	128,370	132,790	+ 4,420
負債・純資産	253,251	266,014	+ 12,763
自己資本	124,803	129,110	+ 4,307
自己資本比率	49.3%	48.5%	▲0.8%

キャッシュ・フロー

現金及び現金同等物期末残高の推移

(単位：百万円)



(注) 現金及び現金同等物に係る換算差額除く

- ◆ 営業CF:仕入債務の減少が売上債権の減少を上回ったこと等により21/3月期比▲9,470減少
- ◆ 財務CF:自己株式取得のための預託金の増加等により 21/3月期比▲9,817減少

2. 2022年3月期連結業績予想・株主還元

2022年3月期 連結業績予想

- ◆ 国内外における工場案件および国内大型再開発案件の順調な進捗に加え、中小型のリニューアル工事案件進捗を見込む
- ◆ 資機材の納期遅延や資機材価格の動向に注意を払い、情報の早期収集と迅速な対応を図り、影響回避に努める

(単位：百万円、%)

	21/3期	22/3期 3Q			22/3期		
	実績	実績	前年同期比増減	増減率	予想	前期比増減	増減率
売上高	275,181	200,161	+11,129	+5.9	300,000	+24,819	+9.0
売上総利益 (売上総利益率)	36,845 (13.4)	26,479 (13.2)	+2,437 (+0.5)	+10.1	42,900 (14.3)	+6,055 (+0.9)	+16.4 -
営業利益 (営業利益率)	12,300 (4.5)	7,499 (3.7)	+1,067 (+0.3)	+16.6	13,800 (4.6)	+1,500 (+0.1)	+12.2 -
経常利益 (経常利益率)	13,902 (5.1)	8,424 (4.2)	+1,124 (+0.3)	+15.4	15,000 (5.0)	+1,098 (▲0.1)	+7.9 -
親会社株主に帰属する 当期純利益 (当期純利益率)	10,116 (3.7)	5,769 (2.9)	+959 (+0.4)	+19.9	11,000 (3.7)	+884 (0.0)	+8.7 -
ROE	8.0	-	-	-	8.0以上	-	-
受注高	287,501	234,735	+39,991	+20.5	295,000	+7,499	+2.6

株主還元方針・自己株式取得

株主への利益還元を経営上の最重要課題の一つと位置づけ

株主還元方針

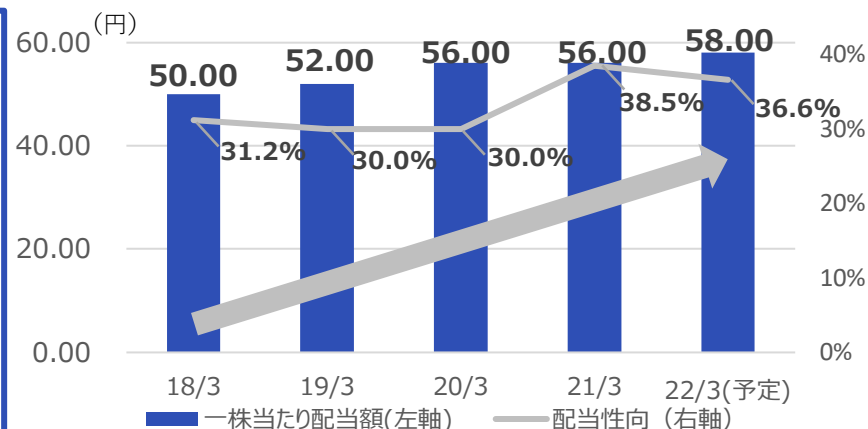
株主還元は配当を基本とし、現中期経営計画“iNnovate on 2023 go beyond!”の「対象期間中は減配を行わず、当社グループの利益成長に応じ、配当を増加する」方針。

自己株式の取得は中長期的に株主価値および企業価値を高める観点より、財務健全性と資本効率を踏まえつつ、市場環境や資本水準、事業投資機会等を総合的に勘案し機動的に実施。

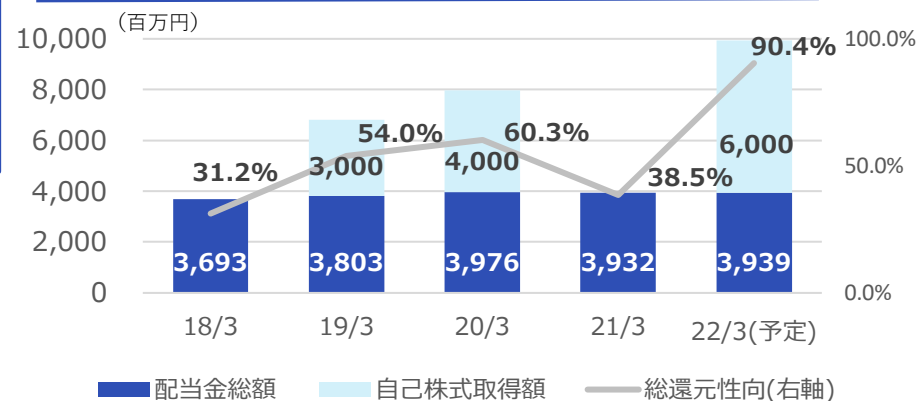
自己株式取得

2021.8.6 → 60億円、400万株を上限とした自己株式の取得決議に基づき実施中

配当の推移



配当金総額・自己株式取得額・総還元性向の推移



3. カーボンニュートラルに向けた取り組み

環境クリエイター®としての「カーボンニュートラル」に向けた取り組み

エネルギー関連

- コーポレートPPA契約を締結し、事業所の再生可能エネルギー電力への切り替え
- 低温排熱の有効活用（メガストック™）
コージェネ大賞（一財：コージェネレーション・エネルギー高度利用センター主催）
2021 産業用部門 優秀賞を受賞

水素事業

- 社会実装における当社第1号プロジェクト「石狩厚田プロジェクト」を遂行中
- 水素製造の大型化とともに、月面環境下での水素生成を可能とする技術の開発中
2021.10.19内閣府主導の「宇宙開発利用加速化戦略プログラム」に採択される。

省エネ・ZEBに向けた取り組み

- 省エネ技術の導入・省エネリニューアル工事の受注・施工
→CO₂排出量（スコープ3）削減
- 高砂熱学イノベーションセンターにおけるZEBへの取り組み
（建物：ZEB達成、敷地全体：Nearly ZEB達成）

賛同するイニシアティブ・外部評価

- 2021.10.15 TCFDフレームワークに則った開示（以下、当社HPに掲載）

https://www.tte-net.com/topics/2021/pdf/20211015_2.pdf



- CDPより気候変動分野「A-」（リーダーシップレベル）評価獲得



メガストック™ ～コージェネ大賞2021 産業用部門優秀賞受賞～

主催：一般財団法人 コージェネレーション・エネルギー高度利用センター

受賞事例名

：コージェネ低温排熱活用による生産設備省エネ化と高密度蓄熱システムによるオフライン熱輸送
～日野自動車羽村工場での改善事例～

共同受賞社：日本ファシリティ・ソリューション(株)様、日野自動車(株)様、東京電力エナジーパートナー(株)様

取り組みポイント

- ① 工場の電力・熱需要に合わせた最適なシステム構築と排熱利用先創出による省エネ実現
→工場の電力・熱需要に適した**ガスコージェネ**へ更新。コージェネの排温水を、工場内の塗装前処理工程、塗装ブース空調に利用
- ② 低温排熱を利用する高密度蓄熱システム導入
→活用困難であった100℃程度の低温排熱利用。

効果

- ・一次エネルギー削減率 22.7%達成
- ・CO₂排出量 4,830ton/年 削減を実現



2022.2.4受賞式にて 写真 最右が当社、研究開発本部長 山分

水素事業 社会実装化に向けた取り組み ~当社 第1号プロジェクト~

事業名称 : エネルギー地産地消事業化モデル支援事業
 施主 : 北海道 石狩市 様
 工事期間 : 2020年11月~2022年3月
 工事概要 : 基礎土地造成、電気設備、太陽光発電設備、**水素システム**

2021年度 NIKKEI脱炭素アワードに
 本プロジェクト応募⇒審査中



グリーン水素製造装置
 Hydro-Creator®を導入



高砂熱学イノベーションセンター～環境負荷低減と知的生産性向上の両立～

2020年の運用開始より、各種省エネルギー手法の実証に加え、再生可能エネルギーとして太陽光発電、バイオマス発電を導入。また、自然エネルギーの積極的利用、設備システムの高効率化を通じて、環境負荷低減と室内環境の快適性・知的生産性の向上の両立を図る取り組みを実施。イノベーション創出の場、自社技術の発信拠点として積極的に活用。

高砂熱学イノベーションセンター外観



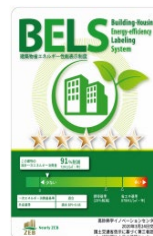
2021.12.21 IR Day2021を開催



ZEBの達成状況（2021. 12月末時点での検証結果）

オフィス棟	『ZEB』
敷地全体	Nearly ZEB

建物環境性能の評価認証



BELS: ★ 5 取得、LEED : GOLD 認証、CASBEE : ウェルネスオフィスSランク認証

気候変動問題対策 ～TCFDフレームワークに則った開示～

気候変動問題を最重要課題のひとつと捉え、気候変動対策を推進中

- ・2020年9月 : 気候関連財務情報タスクフォース（TCFD）提言に賛同表明
- ・2021年3月 : SBTイニシアティブより認定取得
- ・2021年10月 : TCFD提言に基づく情報開示（ガバナンス、戦略、リスク管理、指標と目標）

戦略

短期から長期視点での重要な気候変動のリスク・機会を特定。
シナリオ分析を実施し、事業への影響度の評価および対応施策のレジリエンス評価、対応策を検討。

ガバナンス体制

会議体組織	役割
取締役会	<ul style="list-style-type: none"> ● 気候関連課題に関する重要事項の監督・指示
ESG推進委員会	<ul style="list-style-type: none"> ● 気候関連課題に関する重要事項の審議、気候関連課題全般に係る決議 ● 取締役会への上程・報告
リスク管理委員会	<ul style="list-style-type: none"> ● 気候関連リスクを事業全体のリスクの中のひとつとして認識し、ESG推進委員会と情報を共有
経営企画本部 ESG推進室	<ul style="list-style-type: none"> ● ESG推進委員会の事務局機能

気候関連リスク・機会と財務/事業影響度評価の抜粋

区分	種類	内容	財務/事業影響度		対応表⇔成長機会
			2℃	4℃	
移行 リスク	政策・法規制	● カーボンプライシング制度に伴うコスト増加	高	中	<ul style="list-style-type: none"> ● 再エネ発電設備や蓄電池等の導入検討 ● 将来的なコーポレートPPAへの参画 ● 低炭素車両活用等のCO₂削減策実施
		● サプライヤーにおける上記関連等のコスト増に伴う調達コスト増加			
		● サプライヤーへの需要集中による納期延期ないし調達困難			
	● サークュラーエコノミーの進展に伴う資材調達ならびに廃棄物処理コストの増加				
技術・市場	技術・市場	● 温室効果ガスの削減、ZEB化等の顧客ニーズへの対応不備による受注機会の喪失	高	中	<ul style="list-style-type: none"> ● 顧客動向と市場ニーズの把握 ● 当社のIC(イノベーションセンター)において <ul style="list-style-type: none"> - ZEB実証の推進 - 省エネ技術の開発推進 Green Air Tech 参照 https://www.tte-net.com/solution/pdf/gat.pdf ● 新分野でのCO₂削減技術の開発推進(例)水電解水素生成技術の高度化等
		● 温室効果ガス削減に貢献する新技術(省エネ設計・施工技術を含む)の開発遅延による受注機会の喪失			
		● 新技術の出現、自然エネルギー技術効果の低減に伴う既存技術や自社製品等の優位性低下			
		● 新技術開発および新たな事業化の失敗			
評判	● 気候関連課題への対応不備・開示情報不十分による評判失墜、投資関連リスクの増加	高	中	<ul style="list-style-type: none"> ● TCFD/SBT/CDPなどの気候変動対応イニシアティブへの積極的対応 ● 森林保全など環境活動への積極的参画 	

Appendix. 資料集

受注および販売の状況（単体・子会社別業績）

（単位：百万円）

		2020/3期 3Q	2021/3期 3Q	2022/3期 3Q	
		実績	実績	実績	前期比
受注高	単体	181,624	146,808	172,777	+25,969
	国内子会社	29,301	27,130	30,172	+3,041
	海外子会社	33,028	27,687	37,604	+9,917
	調整額	▲7,407	▲6,881	▲5,818	+1,062
	合計	236,545	194,744	234,735	+39,991
売上高	単体	169,207	145,873	147,705	+1,831
	国内子会社	27,955	27,005	29,192	+2,187
	海外子会社	34,077	22,146	29,721	+7,574
	調整額	▲6,383	▲5,993	▲6,457	▲464
	合計	224,857	189,032	200,161	+11,129
連単倍率（売上高）		1.33倍	1.30倍	1.36倍	

受注および販売の状況（連結・事業別）

（単位：百万円、％）

			2020/3期 3Q		2021/3期 3Q		2022/3期 3Q		
			実績	構成比	実績	構成比	実績	構成比	前期比
受注高	設備工事	一般設備	127,669	54.0	111,767	57.4	120,316	51.3	+7.6
		産業設備	103,268	43.6	78,581	40.3	109,607	46.7	+39.5
	設備機器の製造・販売		5,477	2.3	4,271	2.2	4,731	2.0	+10.8
	その他		130	0.1	124	0.1	79	0.0	▲36.1
	合計		236,545	100.0	194,744	100.0	234,735	100.0	+20.5
	（うち海外）		(35,098)	(14.8)	(26,530)	(13.6)	(38,867)	(16.6)	(+46.5)
	（うち保守・メンテナンス）		(18,024)	(7.6)	(17,353)	(8.9)	(19,004)	(8.1)	(+9.5)
売上高	設備工事	一般設備	132,295	58.8	101,562	53.7	110,680	55.3	+9.0
		産業設備	87,906	39.1	83,357	44.1	85,059	42.5	+2.0
	設備機器の製造・販売		4,524	2.0	3,987	2.1	4,341	2.2	+8.9
	その他		130	0.1	124	0.1	79	0.0	▲36.1
	合計		224,857	100.0	189,032	100.0	200,161	100.0	+5.9
	（うち海外）		(34,222)	(15.2)	(22,311)	(11.8)	(29,723)	(14.8)	(+33.2)
	（うち保守・メンテナンス）		(17,134)	(7.6)	(16,800)	(8.9)	(18,444)	(9.2)	(+9.8)
繰越高	設備工事	一般設備	163,115	63.7	153,040	67.4	155,362	58.4	+1.5
		産業設備	90,964	35.6	72,181	31.8	108,849	40.9	+50.8
	設備機器の製造・販売		1,879	0.7	1,751	0.8	1,810	0.7	+3.4
	合計		255,959	100.0	226,973	100.0	266,023	100.0	+17.2
	（うち海外）		(29,238)	(11.4)	(32,292)	(14.2)	(38,597)	(14.5)	(+19.5)
（うち保守・メンテナンス）		(3,074)	(1.2)	(2,319)	(1.0)	(1,958)	(0.7)	(▲15.6)	

（注）受注高、売上高および繰越高のセグメント間取引については、相殺消去している。

四半期別受注・売上実績（連結）

（単位：億円、％）

		受注				前期比	売上				前期比
		2021/3期		2022/3期			2021/3期		2022/3期		
		四半期	累計	四半期	累計		四半期	累計	四半期	累計	
1Q	設備工事事業	715	715	768	768	+7.4	524	524	542	542	+3.3
	一般設備	468	468	462	462	▲1.4	306	306	299	299	▲2.0
	産業設備	247	247	306	306	+23.9	218	218	242	242	+10.7
	設備機器の製造・販売事業	16	16	14	14	▲11.9	9	9	13	13	+37.7
	その他	0	0	0	0	▲15.3	0	0	0	0	▲15.3
	合計	732	732	783	783	+6.9	535	535	555	555	+3.9
	(うち海外)	(55)	(55)	(125)	(125)	(+126.3)	(60)	(60)	(94)	(94)	(+55.9)
	(うち保守・メンテナンス)	(62)	(62)	(73)	(73)	(+18.5)	(47)	(47)	(54)	(54)	(+13.2)
2Q	設備工事事業	634	1,350	739	1,507	+11.7	627	1,151	653	1,195	+3.8
	一般設備	367	836	433	895	+7.1	342	648	368	668	+3.1
	産業設備	266	513	305	611	+19.1	284	503	284	526	+4.6
	設備機器の製造・販売事業	13	29	16	30	+3.8	14	23	13	26	+13.7
	その他	0	1	0	0	▲33.8	0	1	0	0	▲33.8
	合計	648	1,380	756	1,539	+11.5	641	1,176	667	1,222	+3.9
	(うち海外)	(127)	(183)	(103)	(229)	(+25.0)	(88)	(148)	(101)	(195)	(+31.6)
	(うち保守・メンテナンス)	(54)	(116)	(56)	(130)	(+11.8)	(57)	(105)	(63)	(118)	(+12.3)
3Q	設備工事事業	553	1,903	792	2,299	+20.8	698	1,849	762	1,957	+5.9
	一般設備	281	1,117	308	1,203	+7.6	367	1,015	438	1,106	+9.0
	産業設備	272	785	485	1,096	+39.5	330	833	324	850	+2.0
	設備機器の製造・販売事業	13	42	17	47	+10.8	16	39	17	43	+8.9
	その他	0	1	0	0	▲36.1	0	1	0	0	▲36.1
	合計	567	1,947	808	2,347	+20.5	714	1,890	779	2,001	+5.9
	(うち海外)	(82)	(265)	(159)	(388)	(+46.5)	(74)	(223)	(102)	(297)	(+33.2)
	(うち保守・メンテナンス)	(57)	(173)	(60)	(190)	(+9.5)	(62)	(168)	(66)	(184)	(+9.8)
4Q	設備工事事業	913	2,816				843	2,692			
	一般設備	438	1,555				496	1,511			
	産業設備	475	1,260				348	1,181			
	設備機器の製造・販売事業	15	57				18	57			
	その他	0	1				0	1			
	合計	928	2,875				861	2,751			
	(うち海外)	(91)	(356)				(120)	(343)			
	(うち保守・メンテナンス)	(65)	(238)				(73)	(241)			

業績サマリー（個別）

（単位：百万円、％）

	2020/3期 3Q	2021/3期 3Q	2022/3期 3Q		
	実績	実績	実績	増減	増減比
売上高	169,207	145,873	147,705	+1,831	+1.3
売上総利益 （売上総利益率）	21,559 (12.7)	17,873 (12.3)	20,133 (13.6)	+2,259 (+1.3)	+12.6 -
営業利益 （営業利益率）	10,046 (5.9)	6,123 (4.2)	7,503 (5.1)	+1,380 (+0.9)	+22.5 -
経常利益 （経常利益率）	12,079 (7.1)	7,743 (5.3)	9,553 (6.5)	+1,810 (+1.2)	+23.4 -
四半期純利益 （四半期純利益率）	9,187 (5.4)	5,139 (3.5)	7,104 (4.8)	+1,965 (+1.3)	+38.2 -
受注高	181,624	146,808	172,777	+25,969	+17.7
繰越高	225,403	193,497	226,238	+32,740	+16.9

工事種類別受注・完成工事高（個別）

工事種類別受注工事高（個別）

（単位：億円、％）

		2020/3期			2021/3期			2022/3期		
		3Q	通期	通期 構成比	3Q	通期	通期 構成比	3Q	構成比	前期比
合 計		1,816	2,225	100.0%	1,468	2,224	100.0%	1,727	100.0%	+17.7
一般設備・ 産業設備	一般設備	1,106	1,404	63.1%	946	1,319	59.3%	1,017	58.9%	+7.5
	産業設備	710	820	36.9%	522	905	40.7%	710	41.1%	+36.1
新築・ リニューアル	新築	841	995	44.8%	486	971	43.7%	581	33.7%	+19.6
	リニューアル	974	1,229	55.2%	981	1,253	56.3%	1,145	66.3%	+16.7

工事種類別完成工事高（個別）

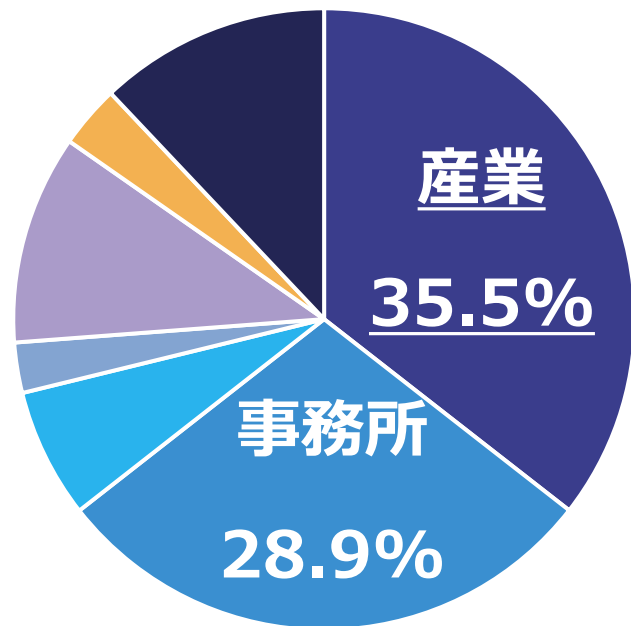
（単位：億円、％）

		2020/3期			2021/3期			2022/3期		
		3Q	通期	通期 構成比	3Q	通期	通期 構成比	3Q	構成比	前期比
合 計		1,692	2,429	100.0%	1,458	2,117	100.0%	1,477	100.0%	+1.3
一般設備・ 産業設備	一般設備	1,153	1,653	68.1%	846	1,276	60.3%	923	62.5%	+9.2
	産業設備	538	776	31.9%	612	841	39.7%	553	37.5%	▲9.6
新築・ リニューアル	新築	749	1,050	43.2%	634	847	40.0%	624	42.3%	▲1.6
	リニューアル	942	1,379	56.8%	823	1,270	60.0%	852	57.7%	+3.5

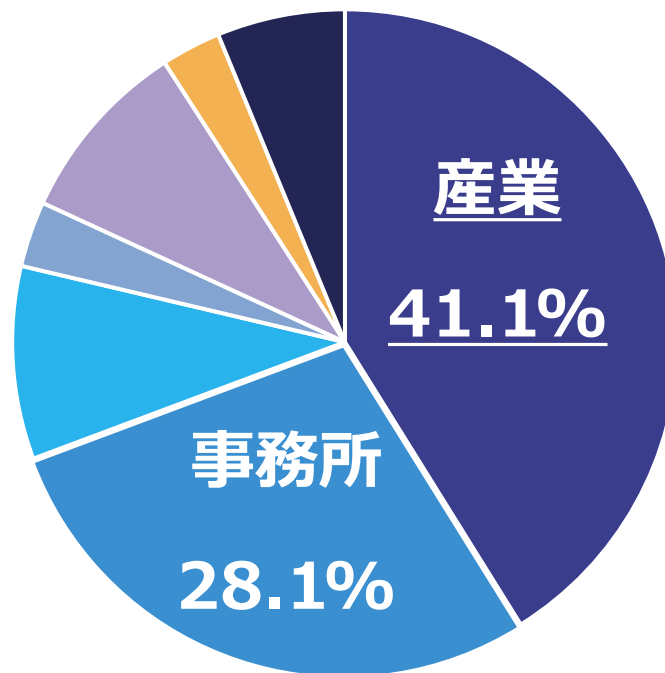
（注）当社国際G事業統括部のみの数値、海外は現地法人（連結子会社）を中心に展開している。

受注工事高内訳（個別・用途別）前年同期比

2021/3（3Q）実績構成比



2022/3（3Q）実績構成比



+17.7%

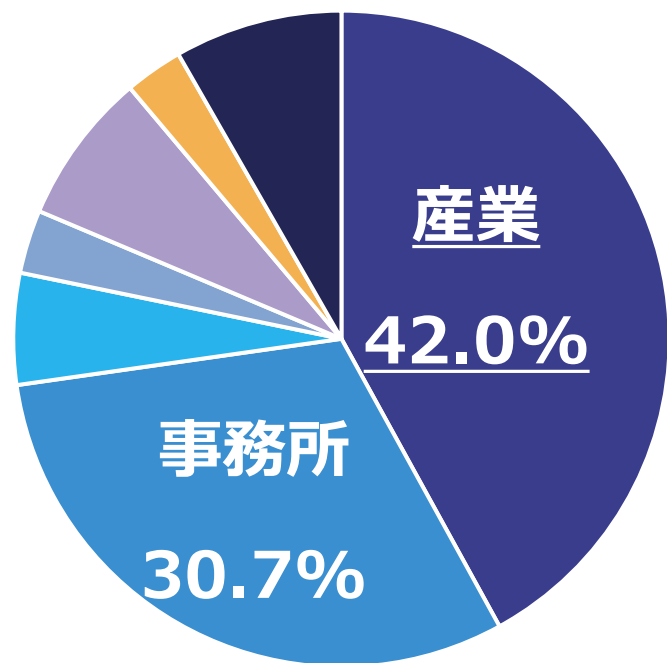
■ 産業 ■ 事務所 ■ 店舗 ■ ホテル ■ 教育・娯楽 ■ 医療 ■ その他

受注工事高
146,808百万円

受注工事高
172,777百万円

完成工事高内訳（個別・用途別） 前年同期比

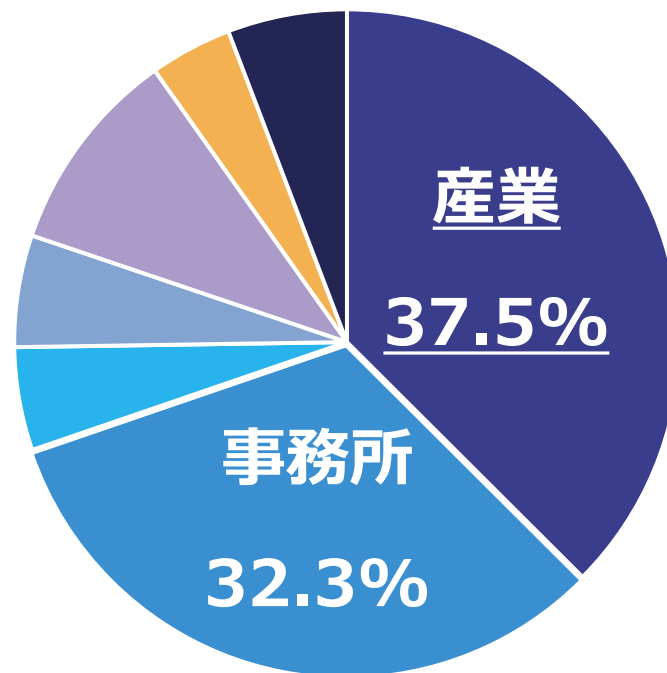
2021/3（3Q）実績構成比



■ 産業 ■ 事務所 ■ 店舗 ■ ホテル ■ 教育・娯楽 ■ 医療 ■ その他

完成工事高
145,873百万円

2022/3（3Q）実績構成比



+1.3%

完成工事高
147,705百万円

将来予測に関する注意事項

この資料に掲載してある将来予測に関する情報は、当社が現時点で合理的であると判断する一定の前提に基づいています。

このため、実際の結果と大きく異なったり、予告なしに変更される可能性がありますので、あらかじめ御了承ください。

IRに関するお問い合わせ先

高砂熱学工業株式会社

経営企画本部 広報部 中村、平木

〒160-0022 東京都新宿区新宿6-27-30 新宿イーストサイドスクエア12階

TEL : 03-6369-8215 FAX : 03-6369-9103

メールアドレス :

isao_nakamura@tte-net.com; terumasa_hiraki@tte-net.com

環境クリエイター® TakasaGo!



高砂熱学